西モイム記録　　2017 年 2 月 26 日（日）13 時半～　大阪府立高津高校
参加者：洪ソンフン、鄭一珠、左美和子、梁千賀子、金玟弟、任喜久子、孫永善、
藤村直哉、岡田萌依、新長太、木村春菜、川上知美
（+兵庫県芦屋中学国際学校教員）

１．近況報告（現場の状況について、活発に情報交換）

・４月に転勤予定、韓国語を教える機会があればと期待。
・文化学習に３分の１程度を割いた。韓国教育院から支援してもらった。
・校内のカリキュラム変更に伴う問題、Ⅰを受講していなくてもⅡを受講できてしまう。
・韓国朝鮮語を受講しにくい選択科目指導により受講者が減少。
・センター試験韓国語を民族学校以外の生徒が受験し始めている？
多言語教育の大切さアピールにつなげていければ。
・映画やドラマを 15 分くらい見せた後、１つのセリフを取り上げて学習させている。
・姉妹校間での留学について、大阪では韓国に１年間留学すると 30 単位の学習をしたとみなされ進級できる制度がある。

２．実践報告

①梁千賀子（大阪市立舎利寺小学校）
「民族学級の歴史と取り組みについて」
現在大阪市内の公立学校 105 校に民族学級がある。
韓国朝鮮にルーツをもつ子どもたちが韓国朝鮮のことばや文化を学ぶ場としての民族学級は、部落解放運動のながれの中でその取り組みが活発に実践されてきた。最近は韓国朝鮮以外にルーツをもつ多文化な子どもたちも増えてきたため、さまざまなルーツをもつ子どもや保護者の集まれる場を作るなど、民族学級のこれまでの実践を活かした活動も始めている。民族講師の雇用の問題等は現在厳しい状況。

②藤村直哉（大阪府立高津高校）
「韓国高校生との「河川共同調査」交流プログラムについて」
科学を通して日本と韓国の交流を進めている。
「自分の環境について簡易な方法により自分で知る」学習の交流→歴史も科学的に実証できればと考える。
これまでは生徒同士英語で交流しているが、今後はぜひ交流に向けた韓国語の講座を開きたい。

３．2016 年度広島全国研修会総括
・実践報告をはじめ充実した内容だった。
・広島メンバーのあたたかいおもてなしが印象的だった。
・プログラムに語り部さんの話や広島平和公園の見学を入れたのはよかった。
・２日めの生徒の話もよかった。
韓国朝鮮語を学んだ子どもたちの声は継続してひろっていく必要がある。共有する。

４．来年度西ブロック人事

５．韓国語教育関連行事等、その他
・国際文化フォーラム「ダンスダンスダンス」のプログラムについて
・韓国の日本語教師との連携について

次回モイムは 5/14（日）または 5/21（日）